

科目名称：	障害児保育実習Ⅰ	
担当者名：	中村 明成、小西 ふみ子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	実習	1
授業の目的・テーマ		
実際に様々な保育現場（保育園・こども園・幼稚園・障害者支援施設）を訪問し、「インターンシップ（現場参加）」を体験する。二人でペアを組み、対象となる「子ども」を中心に、保育の現場で、保育者が実際にどうかかわっているか、特にコミュニケーションに焦点を当てて、自らもかかわってみる。その記録をまとめ、指導していただく保育者とのミーティング、カンファレンスも実施する。そこから、かかわることの意味を考えていく。		
授業の達成目標・到達目標		
子どもの行動の意味を、実際のかかわりからより深く考える。インターンシップ先の指導者の姿から学び、ミーティングを通して、より子ども理解を深める。後期の「障害児保育実習Ⅱ」に向けて、記録のとり方、考察に至るプロセスを理解する。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			100		100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》（中村）障害者支援施設支援員社会福祉士 ケアマネージャー	《経験年数1》11年10か月
	《内容2》（小西）保育士	《経験年数2》42年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
インターンシップ記録	自分たちのかかわりを、ふりかえり、関与者と記録者が話し合いながら記録にまとめられる	自分たちのかかわりをふりかえり、記録にまとめられる	自分たちのかかわりから、記録することができる	記録としてまとめることが不十分である
カンファレンス	自分のケースだけでなく、他のケースについてもよく考え意見を出し合える	自分のケースについて、他者の意見を参考にして話し合える	自分のケースについて話し合いを記録できる	自分のケースについての話し合いが不十分である

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーションと学習の進め方 履修した理由と学習内容に対する希望	シラバスを読んでおく	40分
第2回 インターンシップ（前期現場参加）についての事前学習（ねらい）	昨年度成果発表会冊子の読み込んでおく	30分
第3回 インターンシップ（前期現場参加）についての事前学習（観察方法・記録）	現場参加先の情報を理解しておく	30分
第4回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理する	60分
第5回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理し、まとめておく	60分
第6回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理し、提出できるように書いておく	60分
第7回 インターンシップ（前期現場参加）とカンファレンス	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第8回 インターンシップ（前期現場参加）とカンファレンス	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第9回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理する	60分
第10回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理し、まとめておく	60分
第11回 インターンシップ（前期現場参加）	現場参加の記録を整理し、提出できるように書いておく	60分
第12回 インターンシップ（前期現場参加）とカンファレンス	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第13回 インターンシップ（前期現場参加）とカンファレンス	保育者とのカンファレンスの内容を整理してまとめる	40分
第14回 インターンシップ（前期現場参加）	学内でのカンファレンスをまとめて記録し、プレゼンテーションができるようにしておく	40分
第15回 インターンシップ（前期現場参加）の記録のまとめ（プレゼンテーション）	プレゼンテーションの練習をしておく	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、インターンシップの記録をまとめる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。		
課題（毎回のインターンシップ（現場参加）の記録をまとめ、確認する。現場参加先のミーティングや学内でのカンファレンスをまとめる。）100%		
課題に対するフィードバック		
教員が、インターンシップ（現場参加）先を訪問し、学生と子どもの関わりを確認する。記録は、確認し講評し返却する。指導する保育者にもかかわる目的を説明し、理解を深めて指導していただく。		
教科書・参考書		
プリントを配布する		